

事業所名	児童発達支援 ステラ	公表日	2026年 2月 27日
------	------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・空間的には丁度いいと思う。 ・室内も個別療育をするところ、集団療育をするスペースがあり、扉で区切れることもできる。 ・専門療育をする空間も別にある。 ・イレギュラーになる場合には、活動や場所をわけ等の工夫をしている。	・その日の活動の内容や子どもの様子に応じて、空間をうまく使えるように引き続き、取り組んでいく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・記録の書く際には別の職員に入ってもらったり、ミーティングの時間を決めて手短に行うなど、工夫をしている。	・子どもにとって必要な支援を十分に行えるよう効率的な人員配置や業務内容の改善を行っていきたい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・個別療育をする部屋と集団療育をする部屋が明確にわけているため、子どもにとっても理解しやすい。 ・ホワイトボードに子どもの写真を貼ったりする等、視覚で見てわかるようにしている。	・空間をいかした療育活動について、今後も子どもにあったものを考えて、工夫していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・掃除や消毒作業など、分担して行い、きれいな環境を整えるようにしている。 ・個別療育と集団療育をするスペースが明確に分かれているのはいいと思う。	・今後も清潔な環境を維持できるように環境整備を行っていく。 ・子どもたちにとってよい療育を提供できるように、現在の空間で工夫できるところは職員でも考えていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・状況にあわせて、どの部屋についても使用できるようにしている。	・今後も適宜、必要に応じて空間を使い分けていくことは必要。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・職員全員が参画できるようにしている。 ・日々の職員の口頭でのやりとりは大切にしている。 ・基本的に振り返りは毎日するようにしている。	・振り返りやカンファレンス時、日常の話し合いの中で行い、参加できなかった職員については後日伝達するなど、引き続き行っていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者からの意見については、職員間でも共有して改善につなげている。	・今後も職員それぞれが課題について考え、よりよくなるように改善につなげていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・ミーティングの時間等を利用して意見は出せるようにしている。 ・日々の職員同士のやり取りの中でも言い合えるようにしている。	・子どもへの良い支援、現場での業務が円滑になるようにするためにも、全員で考えて、改善につなげていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・法人内でのサービス向上委員会の開催。 ・委員会に参加し、自事業所を含めた各部署のヒヤリハットや苦情等について共有している。	・サービス向上委員会の中で第三者の方からの助言等については職員間で共有している。業務改善に向けて職員間で十分に検討し、改善につなげていきたい。
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・研修の機会があり、法人内でも開催されている。 ・研修の機会については、特定の職員だけが受けるのではなく、いろんな職員が受けられるようにその都度調整している。 ・受けた研修については、職員間で共有する機会を設けている。 ・外部講師を招いての勉強会の機会がある。	・研修の機会はある。勤務体制上、全員が受講することは困難な場合もあるが、報告の機会を持ち全員の学びとなるようにしていく。 ・研修の内容に興味があったとしても、希望する職員が全員受けられるわけではない。	
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・ホームページ上で公表している。 ・5領域の総合的な支援を基本として、日々の活動の中で、目的を持って活動内容の工夫をしている。	・今後も支援プログラムについて、職員間で共有する中で、それに基づいた日々の療育内容を考え、工夫していくためにスキルアップを図っていく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・面談の中で子どもや保護者のニーズや課題を聞き取った上で、支援計画に反映するようにしている。	・今後もそれぞれの子どもの課題をしっかりと把握するためにも、保護者との面談での情報を元に職員間で共有し作成していく。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・支援会議を開催する中で、各職員からの意見や考えも聞いた中で作成している。 ・全員で共有、話し合いができています。 ・こども園との情報共有も行いながら、支援計画にもいかしている。	・今後も職員それぞれの意見や考えを大切にしながら、「こどもをまんなか」という視点を持って、支援計画にいかしていく。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・支援会議を開催する中で、各職員からの意見や考えも聞いた中で作成している。	・日々の支援の中での気づきや疑問は大切にしながら、それを発信できるようにすることを継続していく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・外部の講師の先生の研修(勉強会)があり、客観的に見ることでいい。	・最新の発達検査の検査結果等を職員間で共有している。今後はインフォーマルアセスメントも実施し支援につなげていきたい。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・面談を通して、子どもの成長や課題について把握するようにしている。 ・支援内容は、ガイドラインに沿って作成されていると思う。それぞれの項目についても設定して作成されている。	・ガイドラインに基づき作成しているが、さらに内容に沿った計画に高めていく。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・週ごとに担当を決めている。</li> <li>・毎月、テーマを定めている。</li> <li>・毎日の振り返りや立案時にねらいと、ひとりひとりの発達段階に応じた支援の方法を考え共有して進め、成果や反省を次に活かすようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの状態に合わせた内容のものを設定できるように職員の工夫とスキルアップしていく。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・週ごとに療育内容にも変化を持たせている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの状態に合わせた内容のものを設定できるように職員の工夫とスキルアップを今後も目指していく。</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の療育の中で、基本的には個別療育と集団療育のどちらも行っている。</li> <li>・イレギュラーなこともあるが、その都度、柔軟に対応して療育活動を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別活動、集団活動に加え専門的療育も行っているが、今後も増やしていく予定である。</li> </ul>
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングの時間を設けて、その日の動きを職員間で確認している。</li> <li>・打ち合わせの時間は十分取れていないこともある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もチーム内での連携を大切にしながら、職員それぞれの気づきについても、それぞれが発信できるようにし、よりよい子ども支援につなげていく。</li> </ul>
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの時間をもち、取り組んだことと子どもの様子について共有するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もいろんな視点を持って支援をしていくと共に、職員それぞれの気づきを大切にしている。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の様子を含めて、記録はしっかりと残すようにしている。</li> <li>・振り返りの中でも「次は～してみよう」ということも話にできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録については今後も丁寧に行う中で、職員自身の気づきを大切に、支援につなげていく。</li> </ul>
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なモニタリングは行っており、職員からの意見も聞き、支援計画の見直しにつなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングから支援計画の見直しにつなげるためにも、表面的に終わるのではなく、より深く考えられるようにしていく。</li> <li>・職員それぞれが発信できるように、支援の方法を考えるなど、スキルアップを図っていく。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管とも現場の様子をシェアできている。</li> <li>・会議が開催される際には、参加するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も相談支援事業所との連携、情報共有を大切にしている。</li> </ul>
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、連携を取れる体制は取れている。</li> <li>・こども園や診療所が法人内にもあり、連携できる体制は取れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も関係機関との連携を大切にしている。</li> </ul>
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども園のクラス担任と情報共有は密に行っている。</li> <li>・意識はしているが、十分とはいえない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も園との連携は大切にしている。</li> <li>・事業所から園に相談するだけでなく、園からも事業所に相談してもらえ関係を継続していく。</li> </ul>
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートブックを活用し、就学時の移行の際に、子どもの情報を共有してもらいやすいようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との直接のやり取りはできていない。</li> </ul>
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の講師の先生の研修(勉強会)があり、その中でスーパーバイズや助言を受けることはできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センターとの連携は取れていないが、今後行っていきたい。</li> </ul>
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内にこども園があり、交流の機会はある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は法人外の施設との交流の機会を作っていきたい。</li> </ul>
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時には、連絡アプリで子どもの様子やその日の取り組みについてお伝えしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者にわかりやすいように丁寧な記録を心掛けていくとともに、成長面や課題についても引き続き共有していきたい。</li> </ul>
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対して研修の案内をしている。</li> <li>・ペアレントトレーニングに参加された方もおり、保護者の方にとって学びの機会になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もペアレントトレーニングを取り組んでいく。また、研修の情報提供や学習会等にも取り組んでいく。</li> </ul>	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を取って、丁寧に説明を行っている。</li> <li>・支援プログラムについてもホームページに掲載し、いつでも見られるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も変更などがあつた時には、丁寧な説明を行っていく。</li> </ul>	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談の際に聞き取るようにしている。</li> <li>・職員間でも共有を行い、現場での支援につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も保護者の思いに加えて、出来る限り子ども自身の意見や思いを聞き取りながら支援につなげていきたい。</li> </ul>	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・どの保護者に対しても、支援の内容は説明して同意を得ている。	・今後も丁寧な説明を心がけていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・必要に応じて面談の機会を設けたり、助言を行ったりしている。 ・面談の内容については、職員間で共有し、一緒に考えるようにしている。	・子どもだけではなく、保護者支援の視点も持ちながら、日々の支援や保護者とのやりとりをしていくことは必要。今後もいつでも気軽に相談に来てもらえるようにし、職員と共有して適切な助言や支援が行えるようにしていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・保護者会を開催している。 ・保護者会の中では、保護者同士が交流する時間も設けている。	・頻度や内容については、保護者のニーズも踏まえて、今後も取り組んでいく。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情については責任者に報告し、速やかに対応するようにしている。	・今後も迅速かつ適切に対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・定期的に通信を発行している。 ・適宜、連絡事項については、連絡アプリを通して配信し、お知らせをしている。	・今後も内容については工夫しながら、発信していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・鍵付きロッカーを使用し、管理には最大限気をつけている。 ・イニシャルでの表記をし、個人が特定されないようにしている。	・引き続き、個人情報の取り扱いについては十分に注意していく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・絵カードや写真などの視覚支援を活用している。	・今後も子どもたち一人ひとりにあったものと考え、有効なものがあれば実践していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・法人内でのフェスティバルで地域の方を招くことはある。	・地域住民、地域の子どもの関わりを今後も工夫して取り組んでいく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・マニュアルは作成して、備え付けている。 ・訓練についても、適宜行っている。	・必要に応じて、マニュアルの見直しを行っていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・BCPの作成、訓練は行っている。 ・訓練についても、全職員が受けられるように日程の調整も行っている。	・訓練の内容について、どのような形であるのか、訓練内容も含めて、工夫して取り組んでいく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	2	・保護者に確認するようにしている。	・発作の有無など、職員間でも共有していく。 ・変化があった時には、その都度保護者に伝えてもらうようにする。 ・新しく加わる職員に対しても、共有していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・アレルギー等については、面談の際に確認をするようにしている。 ・その都度、保護者に確認している。	・食事の提供はしていないが、アレルギーの有無については確認している。今後も情報共有していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全面には日々注意をしながら支援をしている。	・今後もヒヤリハットを出し合い、安全面での意識の統一を図っていく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・訓練等、取り組んだ内容については保護者にお伝えしている。	・安全に過ごすために室内環境を含めて、都度確認をしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットについては職員間でも共有し、防止策を一緒に考えている。	・今後もヒヤリハットについて職員間で十分に検討し、意識向上を図っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修の機会は設けている。	・今後も定期的な研修を実施し、職員の意識の向上を図っていく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・保護者にも丁寧に説明し、了解を得ている。	・今後も保護者に対しては事前に説明を丁寧に行っていくと共に、現場での支援の仕方について考えていく。	